

報 道 配 布 資 料

平成 24 年 (2012 年) 9 月 3 日

所 属 名	所 属 長 名	部 局 長 名	担 当 者 職 ・ 氏 名	連 絡 先
山口県立大学	学 長 え さと けんすけ 江里 健輔	附属地域共生センター 所 長 か と だ けいこ 加登田 恵子	附属地域共生センター 専任研究員 こうざき 神崎 あかね	☎083-928-3495
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、 首都圏			

1. 件 名

平成 24 年度山口県立大学後期公開授業の開催について

2. 内 容

	授 業 名	概 要	(1)日時 (2)場所 (3)受講料
1	アフリカ社会・ 文化論 a	アフリカ社会や文化について、現地からの最新報告を交えての講義です。日本人やヨーロッパ人がいかに「自分の文化」という色眼鏡で世界を見てきたか、その偏見やおごりを教えてくれるアフリカのパワフルな元気と、そこに暮らす人々が現在置かれている苦境についても学んでいきます。そして、その人たちに対し、私たちにできることは何かを考えます。	(1) 平成24年10月 2 日 (火)～ 平成25年 1 月29日 (火) 【全15回】 14:30～16:00 (2) 山口県立大学 本館 3 階 A32教室 (3) 1 回 500円 10回以上 5, 000円
2	異文化交流論 b	日本人と欧米人の行動様式の違いについて、さまざまな文化的視点から比較検証します。事例に沿った講義と楽しい会話形式で、全講義、英語で授業を進めます。クラス時間では、欧米やアジアからの留学生と県立大学生とのグループディスカッションを中心とします。	(1) 平成24年10月 2 日 (火)～ 平成25年 1 月22日 (火) 【全14回】 14:30～16:00 (2) 山口県立大学 4 号館 2 階 D22教室 (3) 1 回 500円 10回以上 5, 000円
3	基礎セミナーⅡ (部分公開)	この授業では、健康で豊かな生活を実現するための基盤となる健康教育を行います。自己のライフスタイルと健康状態を点検することにより、自身の課題を発見し、健康的なライフスタイルを確立するための学習と実践活動に取り組みます。	(1) 平成24年10月 3 日 (水)・ 10月10日 (水) 【2回】 10:20～11:50 (2) 山口県立大学講堂 (桜園会館) (3) 1 回 500円

3. 申込方法

(1) 電話、FAX またはハガキで、氏名、住所、電話番号・FAX 番号を、裏面申し込み先までお知らせください。

(2) 講座開始前までに、各自へ受講通知いたします。

4. 問い合わせ先・申し込み先

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

TEL / FAX (083) 928-3495



アフリカ社会・文化論

アフリカ社会や文化について、現地からの最新報告を交えての講義です。

日本人やヨーロッパ人がいかに「自分の文化」という色眼鏡で世界を見てきたか、その偏見やおごりを教えてくれるアフリカのバワフルな元気と、そこに暮らす人々が現在置かれている苦境についても学んでいきます。

そして、その人たちに対し、私たちにできることは何かを考えていきましょう。

10月2日(火) から 平成25年1月29日(火) まで [全15回]

14:30~16:00

会場：山口県立大学 本館3階 A32 教室



講師：
国際文化学部 教授
安溪 遊地
(あんけい ゆうじ)

但し、10/6 17:30~19:30 のゴスペルワークショップのみ 山口県立大学体育館

※ 部分受講も可能です。(開催期間中は、随時受付いたします)

※ 13回以上受講された方には、山口県立大学公開授業受講修了証書を授与いたします。

講義内容 (詳細は裏面をご覧ください)

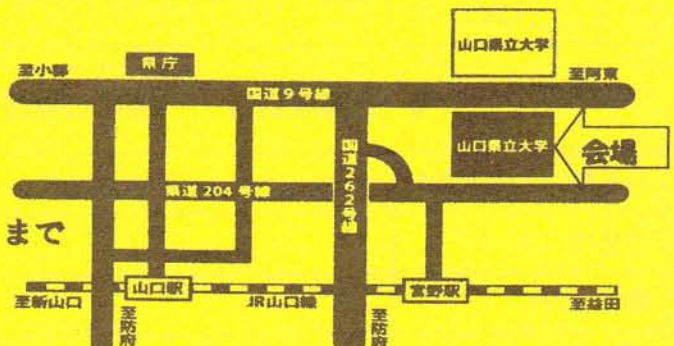
- ◆アフリカの社会のしなやかさ 文化の豊かさとの出会いの衝撃
- ◆10/6 (土) 特別授業・木島タロー ゴスペルワークショップ
- ◆アフリカの歴史 (1) (2) (3)
- ◆日本が支えたアパルトヘイト体制
- ◆庶民の暮らし (1) (2) (3)
- ◆多彩なことばの世界 (1) (2)
- ◆暮らしを守る人々
- ◆あなたの暮らしが今問われている (1) (2) 等



受講料 1回 500円、10回以上 5,000円

お申し込み・問い合わせ

電話、FAXまたはハガキで、
山口県立大学附属地域共生センター生涯学習部門 まで
TEL/FAX 083-928-3495
〒753-8502 山口市桜島3-2-1



◆ 講義内容

回	日時	テーマ	内容
1	10/2 (火)	アフリカの社会のしなやかさ 文化の豊かさとの出会いの衝撃	1978年、コンゴ民主共和国(ザイール)で、私はアフリカの熱帯雨林のなかにある村で暮らした。滞在1ヶ月で村長の養子になって、森の暮らしの豊かさを知った。
2	10/6 (土) 17:30~19:30	【特別授業】 木島タロー ゴスペルワークショップ (山口県立大学体育館)	11/13 休講の補講イベント。ホンモノのゴスペルと一緒に歌う感動のセッションをともに味わいましょう。 http://tarokijima.com/
3	10/16 (火)	アフリカの歴史(1)	古代からの文明の興亡。エジプト文明には黒人王朝があった。ジンバブウェの古代遺跡など、高度の文明を支えた人々の歩みをたどる。
4	10/23 (火)	アフリカの歴史(2)	列強による植民地化と独立。ケニア共和国の例に。
5	10/30 (火)	日本が支えた アパルトヘイト体制	アパルトヘイトのもとで、明るく生きる高校生を描いた「サラフィナ!」を通して、差別が法律となっていた時代の生活を知る。
6	11/6 (火)	アフリカの歴史(3)	民族対立と内戦の行方。 ルワンダの悲劇はどうして起こったか。
7	11/20 (火)	庶民の暮らし(1)	東アフリカの大都市ナイロビに生き抜くペンキ職人の暮らしと田舎にあるふるさとへの思い。
8	11/27 (火)	庶民の暮らし(2)	映画・母達の村(前半) FMG(女性性器切除)という慣習にひとり立ち向かう女性を題材にした映画。 バンバラ語とフランス語に日本語字幕
9	12/4 (火)	庶民の暮らし(3)	映画・母達の村(後半)美しい西アフリカの自然の中で、お話はクライマックスに。センベヌ監督の遺作。 http://www.alcine-terran.com/main/moolaaade.htm
10	12/11 (火)	多彩なことばの世界(1)	スワヒリ語の文法構造を学ぶ。ピジンとクレオールという現象を知る。
11	12/18 (火)	多彩なことばの世界(2) —私の研究	スワヒリ語の仲間であるバントゥー諸語との格闘。これまで誰も調べていない、話者5万人程度のソングーラ語の辞書づくりと、昔話・神話の研究。
12	平成25年 1/8 (火)	暮らしを守る人々	東アフリカの聖なる森を守るために、若者たちと長老たちが合意した秘密の計画とは。ケニア東海岸でのフィールドワーク結果を紹介。
13	1/15 (火)	あなたの暮らしが 今問われている(1)	地酒づくりを追う東アフリカとガボンの旅から。東アジアにしかないと思われていた、カビを用いた地酒を世界ではじめて学会で紹介した安溪貴子さんの協力。
14	1/22 (火)	あなたの暮らしが 今問われている(2)	援助とは何か。ケニアに住んで30年、岸田ママとよばれる女性の智恵にみちた取り組みが日本の援助のあり方をも変えていく。
15	1/29 (火)	補講・やっぱりアフリカ大好き!	とっておきの映画鑑賞。

◆ 受講申込書 後期公開授業「アフリカ社会・文化論a」を受講します。

お名前(ふりがな)	
ご住所	
電話・FAX	
受講希望	全回受講 <input type="checkbox"/> 部分受講(<input type="checkbox"/> 回)

◆講義内容

回	月 日	内 容
1	10/2 (火)	Introduction to the Course 概論・自己紹介
2	10/16 (火)	Cross-Cultural Differences in the Home 家庭における異文化間の相違
3	10/23 (火)	Is it Personal or Cultural? I 個人的？文化的？(1)
4	10/30 (火)	Is it Personal or Cultural? II 個人的？文化的？(2)
5	11/6 (火)	Verbal Self-Disclosure 言語による自己開示
6	11/13 (火)	Universal Culture : Does it exist ? 普遍的な文化はありますか？
7	11/20 (火)	Life Stages ライフステージ：人生の大行事
8	11/27 (火)	Cultural-cultural Misunderstandings 異文化間の誤解について
9	12/4 (火)	Gift-Giving in Japan and other cultures 日本と他文化における贈答について
10	12/11 (火)	Language: Are we really understanding what we hear ? ことば：聞いたことを本当に理解していますか？
11	12/18 (火)	Holidays I : Christmas 祭日 (1)：クリスマス
12	2013.1/8 (火)	Holidays II : New Year 祭日 (2)：お正月
13	1/15 (火)	Reverse Culture Shock 逆カルチャーショック
14	1/22 (火)	Class Evaluations and Saying Goodbye 授業評価と最後の挨拶

◆受講申込書

後期公開授業「異文化交流論b」を受講します。

お名前(ふりがな)	
ご住所	
電話・FAX	
受講希望	<input type="checkbox"/> 全回受講 <input type="checkbox"/> 部分受講 (<input type="text"/> 回)

基礎セミナーⅡ

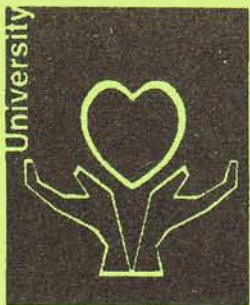
この授業では、健康で豊かな生活を実現するための基盤となる健康教育を行います。自己のライフスタイルと健康状態を点検することにより、自身の課題を発見し、健康的なライフスタイルを確立するための学習と実践活動に取り組みます。

10月3日(水)・10月10日(水)

各回とも 10時20分～11時50分

会 場：山口県立大学講堂 (桜園会館) 受講料：1回 500円

回	日 時	テ ー マ	講 義 概 要	講 師
1	10月3日 (水) 10:20～11:50	体 と 健 康	あふれる健康情報の根拠はどこにあるのでしょうか。肥満と健康の関係を例に、常識を疑い、賢い選択を行うための方策を考えていきます。	副学長 長坂 祐二
2	10月10日 (水) 10:20～11:50	心 と 健 康	このストレス社会において、心の健康を保ちながら、大学生活、地域生活を送るためにはどうすればよいか考えていきます。	看護栄養学部 教授 中村 仁志



お申し込み・問い合わせ：電話・FAX、または、はがきで、下記までお申込みください。

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

電話・FAX 083-928-3495

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1



受講申込書

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門 宛

FAX 送付先 083-928-3495

ふりがな お名前	
ご住所	〒
電話・FAX 番号	
受講日 <small>(受講希望日に○をお付けください)</small>	10月3日 10月10日